

# (例) アジア航測 株式会社

これより上は環境省で作業いたしますので、加工しないでください。

## 1. 取組実績

■平成 30 年 2 月 14 日（水） BSAC 関西エリアミーティングにおいて、国際サンゴ礁年の周知とサンゴ礁保全活動への参加を促す為、コーラルネットワーク宮本氏を講師として招き、40 名のショップ経営者やインストラクターに向けて講演の時間を設けた。



■平成 30 年 2 月 20 日（火） BSAC 関東エリアミーティングにおいて、国際サンゴ礁年の周知とサンゴ礁保全活動への参加を促す為、コーラルネットワーク宮本氏を講師として招き、54 名のショップ経営者やインストラクターに向けて講演の時間を設けた。



■平成 30 年 5 月 26 日（土）～27 日（日） ダイバーによるサンゴの健康調査「リーフチェック in 宍喰」の開催において、ボランティアダイバーの募集協力と、調査の為に人材を派遣した。参加人数は研究者と一般ダイバーとダイビングショップスタッフ合わせて 30 名と、その他地元の漁師などの協力の下調査を終えた。調査ポイント：徳島県海部郡海陽町宍喰 竹ヶ島近海 主催：竹ヶ島海域公園自然再生協議会、NPO 法人 あど未来 協力：ダイビングサービス カアナパリ、宍喰漁協、黒潮生物研究所、コーラルネットワーク、BSAC JAPAN



■平成 30 年 9 月 9 日（日） ダイバーによるサンゴの健康調査「リーフチェック in 喜界島」の開催において、ボランティアダイバーの募集協力と、調査の為に人材を派遣した。当日は台風接近の影響で海況不良となり、調査ポイントの選定のみを行い、調査は 10 月 14 日（日）に順延となった。

■平成 30 年 10 月 14 日（日） ダイバーによるサンゴの健康調査「リーフチェック in 喜界島」の開催において、ボランティアダイバーの募集協力を行った。参加人数は研究者と一般ダイバーとダイビングショップスタッフ合わせて 10 名と、その他地元の漁師などの協力の下調査を終えた。調査ポイント：鹿児島県大島郡喜界町 喜界島近海主催：WWF JAPAN、喜界島サンゴ礁科学研究所、奄美海洋生物研究会 協力：ヨネモリダイビングサービス、山形カシオ株式会社、BSAC JAPAN



【作成時の注意】 2 枚以上の写真を添付し、A4 用紙 2 枚に収める。  
余白は上下左右すべて 20mm。フッター位置は下から 5 mm。本文は 10.5 ポイントの MS 明朝。

■平成 30 年 10 月 20 日（土） ダイバーによるサンゴの健康調査「リーフチェック in 唐津」の開催において、ボランティアダイバーの募集協力と、調査の為に人材を派遣した。参加人数は研究者と一般ダイバーとダイビングショップスタッフ合わせて 14 名と、その他の協力の下調査を終えた。調査ポイント：佐賀県唐津市 唐津市近海 主催：NPO 法人 玄界灘を守り育てる会 協力：唐津マリンスポーツクラブ、コーラルネットワーク、国立環境研究所、黒潮生物研究所、喜界島サンゴ礁科学研究所、BSAC JAPAN



■平成 30 年 11 月 10 日（土）～11 日（日） ダイバーによるサンゴの健康調査「リーフチェック in 渡嘉敷」の開催において、ボランティアダイバーの募集協力を行った。参加人数は研究者と一般ダイバーとダイビングショップスタッフ合わせて 13 名と、その他の協力の下調査を終えた。調査ポイント：沖縄県島尻郡渡嘉敷村 渡嘉敷島近海 主催：ダイビングサービス Vibgyor 協力：コーラルネットワーク、BSAC JAPAN



## 2. 取組による効果

BSAC 関西・関東エリアミーティングでは、今年が国際サンゴ礁年であるという事や、サンゴ礁の現状をダイビングショップ経営者やインストラクターに周知させる事で、事業者側のサンゴ礁保全の意識を高める事が出来た。

リーフチェックでは、今年が 13 回目の開催となった徳島県海部郡海陽町宍喰、沖縄県島尻郡渡嘉敷村については、例年以上の協力をする事で参加人数も増やす事が出来た。そして調査ダイビングやサンゴ礁保全の意識向上に興味を持つダイバーを増やす事が出来た。鹿児島県大島郡喜界町と佐賀県唐津市でのリーフチェックについては、発案・企画から人材の紹介、そしてスタッフの派遣など、初めての調査に一定の協力する事が出来た。喜界島は国際的にも希少な隆起サンゴ礁から成り立つ島としても広く知られており、唐津はサンゴ生息域の北限に近い場所と言う事で、両ポイントにおいてのサンゴ礁保全活動の盛り上がりだけでなく、今後のリーフチェックの調査結果も興味深いものとなる事が予想される。

## 3. 今後の予定・展望

まずは今年リーフチェックが開催された 4 拠点のポイントの調査が途絶えないよう、継続してサポートしていく。そして国内のサンゴ礁の健康状態を把握し、BSAC 加盟店やインストラクターだけでなく、ダイビング事業者に対しても情報発信していく。この 4 拠点を中心にサンゴ礁だけでなく環境保全の拠点となるダイブセンターを新たに任命していきたいと考えている。

### <担当者連絡先>

企業住所：〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋帳 13 サンビル 4F

所属・担当者氏名：大槻 祥久

TEL：03-5297-5656

E-MAIL：info@bsac.jp



【作成時の注意】 2 枚以上の写真を添付し、A4 用紙 2 枚に収める。  
余白は上下左右すべて 20mm。フッター位置は下から 5 mm。本文は 10.5 ポイントの MS 明朝。